

事務事業・業務見直し行動計画

所 管 名	財政課	課 長 名	堀江英生	
事務事業名	行政評価制度の見直し（対象事業・取組方針）			
業務改善方策	外部化の推進	<input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民営化・民間移譲 <input type="checkbox"/> 補助制度 <input type="checkbox"/> 人材派遣 <input type="checkbox"/> 臨時・嘱託		
	業務の効率化	<input type="checkbox"/> 内容（ ）		
	業務の簡素化	<input type="checkbox"/> 共同 <input type="checkbox"/> 集約 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他（対象事業及び取組方針の見直し）		
	組織の見直し	<input type="checkbox"/> 新たな部署 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他 まちづくり推進課へ移管		
取り組み内容	<p>（現状） 当該年度予算から体系表を作成し、翌年度に途中・事後の評価を実施している。今年度は4月にスケジュールを示しているが、評価表の提出に遅れをきたしている状況にある。「評価業務」は業務外の認識があり、評価制度の目的からするとこの制度が十分浸透しているとはいいがたい。</p> <p>（方針） 評価事業を大きな括りにすると評価の視点が雑になりやすく、詳細にすると煩雑になることが懸念される。事業の捉え方は検討の余地がある。また、内部評価であるが故、評価の視点が行政側であることは否めないし、評価制度の目的である職員のコスト意識の醸成のためにも民間を入れた評価機関の検討も必要と思われる。</p>			
実施時期			関連事務	
見直し人員	所属職員数	6人	現行人件費 （内容について具体的に記載のこと。）	
	見直業務人役			
実施効果			金額（円）	内容
	実施に伴う削減額			
	実施に伴う経費（ の()%に相当）			
	実施に伴う効果額（ - ）			

【実施に向けた年度別計画】

実施項目	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6

課題・問題点	評価することの価値観の問題
--------	---------------